



## Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department

Av. Paulista, 1274 – Bela Vista  
São Paulo, SP – 01310-925

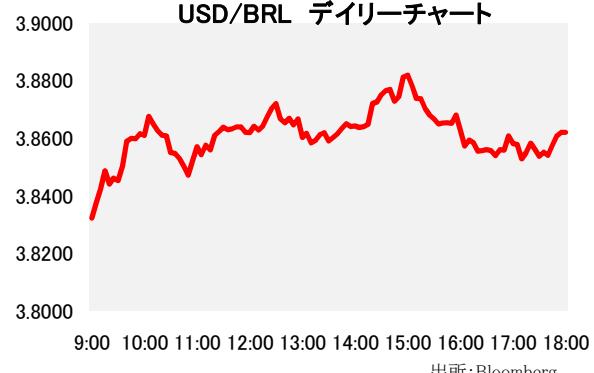
## 1. マーケット・レート

			9月9日	9月10日	9月11日	9月14日	9月15日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.7800	3.8490	3.8700	3.8150	3.8620	+0.0470
	BRL/JPY	Spot	31.89	31.33	31.16	31.50	31.19	-0.31
	EUR/USD	Spot	1.1209	1.1279	1.1338	1.1320	1.1267	-0.0053
	USD/JPY	Spot	120.52	120.64	120.59	120.22	120.43	+0.21
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	14.391	14.539	14.761	14.420	14.662	+0.242
	Future	1Year(p.a.)	14.910	15.230	15.136	14.790	14.952	+0.162
On-shore	6MTH(p.a.)	2.672	2.740	2.886	2.656	2.718	+0.062	
	USD	1Year(p.a.)	3.777	3.876	3.886	3.619	3.718	+0.099
株式	Bovespa指数		46,657	46,504	46,401	47,282	47,364	83
CDS	CDS Brazil 5y		372.12	386.00	395.30	385.81	381.76	-4.06
商品	CRB指数		195.795	198.007	196.721	195.799	196.015	+0.22

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

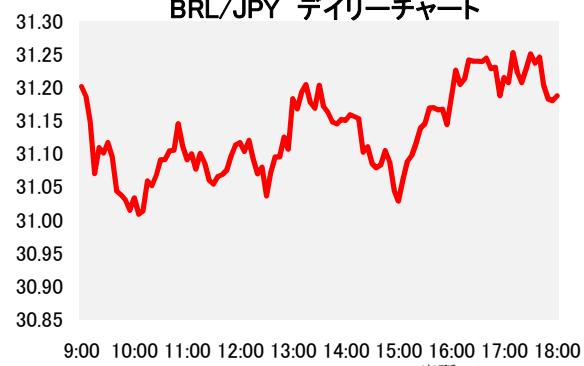
## 2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FGVインフレ率IGP-10(前月比)	0.59%	0.61%	0.34%
(米)小売売上高速報(前月比)	0.3%	0.2%	0.7%
(米)NY連銀製造業景気指数	-0.5	-14.67	-14.92
(米)鉱工業生産(前月比)	-0.2%	-0.4%	0.9%
(米)設備稼働率	77.8%	77.6%	78.0%
(米)企業在庫	0.1%	0.1%	0.7%



## 3. 要人コメント

トニビニ伯中銀総裁	ブラジル中銀は相場目標を持たず、変動を減らすため行動する。レアル安水準の下限を設定しない予定。
-----------	---



## 4. トピックス

- 本日のレアルは3.8140で寄り付き、オープン直後に本日の高値となる3.8130をつけた。しかし、中国株の続落を受けてレアルは急落し、世銀が米利上げが実施された場合でも新興国への資本フローの影響は緩やかになるとの見解を示したことを受け、米国の利上げ期待から新興国通貨や資源国通貨が売られた。更に米8月小売売上高が2ヶ月連続でプラスになったことを受けてドル全面高の展開となるとレアルは3.87台後半まで急速に売られた。同時に発表されたNY連銀製造業景気指数やその後発表された米鉱工業生産は市場予想を大きく下回ったが、利上げ期待で米2年債利回りが2011年以来の高水準となるとドルは堅調に推移し、レアルは本日の安値となる3.8830を示現した。その後、16-17日にFOMCを控えて様子見ムードとなるとレアルは3.84台後半まで小反発し、結局3.8620でクローズした。
- 米8月小売売上高は予想には満たなかったが2ヶ月連続で上昇し、前月分も上方修正された。これを受けて米国株式は上昇し、S&P500種株価指数は約2週間ぶりの水準となった。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関する生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様自身でご判断下さいよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布することはできません。